

ホモ・ルーデンス -The Players-

大谷直人『春雷』＝原作 佐藤茂紀＝作 関根信一＝演出

写真：成毛章浩

次から次へと **遊び** を生み出す、

ササはホモ・ルーデンス＝勤勉なる遊び人！



創立以来、ひたすら青少年の目線で作品をつくり続けてきた青年劇場の新作。テーマは「遊び」！人間は本質的に「遊ぶ存在」ということから、「ホモ・ルーデンス」という言葉が生まれた。縄文時代、集落さっての狩猟の名手で若くして長老候補のシシと、狩りも採集もてんでダメなササ。しかし、ササは腹の足しにはならないが面白い「遊び」を次々に生み出す、勤勉なる遊び人＝ホモ・ルーデンスだった！

“役に立つか立たないか”が選別基準。切り捨てられても自己責任。そんな世の中に生きる青年たちが、シシとササの物語を演じたら？ ちょっと変わった二重構造の喜劇！

2025年にスタジオ結で上演し好評を得ました。2026年3月には紀伊國屋ホールで再演予定です。

あ
ら
す
じ

202X年、大きな自然災害が起きてから5年後のとある地方都市。

震災後避難所になり、その後廃校になり、公民館として活用されていた学校の校舎。その一角にある、かつて演劇部の稽古場として使われていた同窓会館に、ウメの呼びかけで5年ぶりに集まってくる元演劇部の仲間たち。

「みんなの憩いの場である公民館を守るため、震災で公演できなかったおれたちの芝居を上演して公民館閉鎖反対を訴えよう」

ウメの投げかけに戸惑うメンバーたち。それは震災で亡くなったダイスケが書いた台本「ホモ・ルーデンス」だった。

美術＝乗峯雅寛 照明＝松浦みどり 音響＝樋口亜弓 衣裳＝宮岡増枝 演出助手＝清原達之
舞台監督＝松橋秀幸 舞監助手＝高山康宏 製作＝白木匡子 八代名菜子 製作助手＝佐野菜々子



秋田雨雀・土方与志記念

青年劇場

〒160-0022東京都新宿区新宿2-9-20 問川ビル4階
TEL.03-3352-6990 E-MAIL.info@seinengekijo.co.jp

